

専門部会議事内容結果（要旨）

専門部会名	第5回 産業経済部会
開催日時	平成 28年 5月 11日 18時 30分 ~ 20時 10分
開催会場	名寄市民文化センター 会議室
出席委員	扇谷部会長、田中副部会長、今井委員、宮崎委員、野間井委員、上口委員、清水委員
事務局出席者	川田部長、今事務局長、山田課長、又村課長、新田主幹、湯浅主幹、菊池主査
審議事項	第2時総合計画の主要施策及び基本事業について
発言内容	<p>● 農業農村の振興</p> <p>■ 委員 1-5農業振興区域について、現状と合わない状況とは？</p> <p>◎事務局 農業振興区域に入っていないことで、圃場整備事業などに取り組めないことや、農業振興区域に入っていることで、農地転用に制限が掛り農地利用以外の目的で自由に売買できないこともある。区域の見直しには、航空測量が必要となるため、ある程度、数がまとまった時点で実施していきたい。</p> <p>■ 委員 変更手続きを進めることは厳しいことなのか？また、誰が実施主体なのか？</p> <p>◎ 事務局 手続きは、北海道に申請し承認いただく。申請主体は名寄市である。</p> <p>■ 委員 1-3 女性農業者への活動支援どのようなことを想定しているのか？</p> <p>◎ 事務局 具体的なものは描ききれていない。また、女性農業者へ特化するの賛否両論があるが、ご意見をお聞きしながら進めていきたい。</p> <p>■ 委員 子育て世代の女性など、若い方への何か支援があれば良いと思う。JA女性部は中山間などで支援を受けているので、若い方への支援があればよい。</p> <p>◎ 事務局 従来は、研修などで市外に出て行くための支援が多かった。しかし、市外に出ていけない方のために、市内での研修に対しても支援があればよいのではないかと考えている。</p>

- 委員 需要はあるのか？具体的な支援希望があれば良いともう。
- 委員 託児所などの支援があれば、子育て世代の女性は助かると思う。
- 委員 起業支援などがあれば、やる気に繋がると思う。
- 事務局 中小企業振興条例の改正でも起業支援は検討されている。
- 委員 砺波の保育所は16時30分で閉所してしまうので、開所時間の延長を検討してほしい。そのことで女性が外に出て活躍できるし、起業にも繋がる可能性があると思う。
- 委員 配偶者確保（婚活）イベントは、JA青年部だけで開催することは重荷になるため、配慮していただきたい。また、数年に一度でもテレビイベントなどを誘致するなどして開催出来ないか。
- 委員 高収益作物は人手が必要である。風連・名寄・智恵文、市内どこでも収益を上げるための支援として、暗渠排水の整備を早急を実施して欲しい。
- 委員 1-4 クリーン農業に関連して、ヘリでの防除を行っている。（産業ヘリ）JAと行政が協議し、全組合で農薬指定などを行ない、一斉防除などができれば、作業効率も上がり、コスト削減にも繋がる。日進、中名寄、名寄西、風連、智恵文のヘリ組合が連携できることが理想である。
- 委員 以前、風連は農協の資材部門が窓口となり取りまとめを行っていた。現在はそのような取組は行っていないのか？
- 委員 以前は、水田の関係でお世話になったこともあるが、時期が重なり忙しくて、他の所になかなか行けないような状況もあり、現在は頼んでいない。
- 委員 散布時期が重なるので、なかなか手が回らなくなってしまうのでしょうか。
- 委員 夏の時期は、落ち着いている時期なので比較的動くことができるが、春先は田植え時期で、人手不足である。
- ◎事務局 貴重な意見ありがとうございます。現在、農業農村の振興計画策定中である。これから取りまとめとなるため、その中で議題としてあげて、検討させていただきたい。環境整備は大切であると認識している。保育所の問題は、健康福祉部とも協議・検討をさせていただきたい。
- ◎事務局 農業後継者対策は、農業委員会で所管しており、昨年もJA青年部にご苦勞頂きイベントを実施いただいた。今年度も運営委員会で話をさせていただいた。今年度は少し縮小し、参加者目線で事業を実施していきたい。
- 委員 今回の明記の仕方は、多少具体性に欠けるとも感じたが、農業農村振興計画（個別計画）で具体的な中身は検討し明記していくことでよいのか？難しいとは思いますが、具体的なものが見えればわかりやすくなるため質問した。個別計画に反映されるのであれば問題ない。

- 委員 総合計画の下に、個別計画があり、その中で具体的なものは検討になる。個別事業は、金目が付いてきて、中期財政計画も関係してくるので、行政で検討になると思うが、今回の議論を反映してもらいたい。

- 委員 法人化については、現状どうなっているのか？

- ◎事務局 現状、なかなか進んでいない。1農家1法人となった場合、メリットがわかりづらい。労働力の確保、労働環境の整備につながればとも考える。通年雇用など仕事をつくることと併せることで雇用確保につなげられないか。法人化を一つの手段として農家に知っていただきたい。メリットの周知と環境整備を同時並行で進めていきたい。

- 委員 商業でも人材の確保が課題となっている。機械オペレーターなど、期間限定でも人材が欲しいところであるが、根本的に取り組まなければ変わらない。

- 委員 JAでも人手不足でアスパラ収穫できず、離農する可能性もでてきていると聞いた。これまで、旭川からも日雇いで人材確保していたが、なかなか人が集まらなくなっている。このままだと、生産性が下がり、逆に価格が上がり売れなくなってくる可能性がある。人材不足は大きな課題であり深刻な問題である。

- 委員 智恵文では、アスパラ面積が大きいので中国人研修生に頼るところが大きい。風連でも人材不足は深刻で、アスパラ収穫時期などは人材の取り合いになり、高齢者事業団でも対応しきれていない。元気な高齢者がパークゴルフなど趣味を楽しむ人が多くなり、人手不足が深刻となっている。高収益作物は人手が必要になるため、人材不足では作りたくても作れなくなる。

- 委員 農作物はまず作ってもらい、その物がブランド化することで好循環を生むので、人材不足では作ることができず好循環サイクルが回らなくなる。

- 委員 複数の農家がまとまって、法人化することは難しい。1農家が法人化して、人を雇ってやれるならよいと思う。

- 委員 以前は集団でやっていたが、欲しい機械が異なることや人材確保ができない為、法人化を進めるとしても1農家1法人となると思う。

- 委員 農家はやる気がないと続かない。冬場、除排雪の仕事もあり、仕事が切れることはない。地元就職先があるということを行政は示して欲しい。

- 林業振興

- 委員 木材価格の減退、森林所有者の減少、高齢化など問題は多くある。森林所有者も、後継者に売買進めてしまうのが現状。市内の多くの森林が伐採適齢期を迎えている。山に対する教育を受けてこなかったため、市民の認知度が低いことは残念なところ。

- 委員 森林組合の組合員はどのくらいなのか

- 委員 上川北部森林組合は中川町、音威子府村、美深町の森林組合と合併して、現在組合員1500位、道内外に所有者は3000人くらい。
- 委員 森林の伐採適齢期は森林組合で把握しているのか？
- 委員 価格の低迷の一方、補助事業とある。森林事業はお金にならないのか？
- 委員 50、60年に一度伐採になるので、すべて把握するのは中々難しいが、森林調査簿（台帳）で管理している。林務関係補助事業は、かなり手厚い状況であり、負担軽減になっている。ある程度面積を保有し、伐採時期が重ならない経営をしていくと儲かる。
- 委員 森林の多面性や、防災などにも関係する森林の役割を理解する必要がある。
- 委員 「森林保全」を明記したことよいこと。森林組合と行政が連携しないと事業推進できないのか？
- ◎事務局 補助事業は私有林68%、道単独補助28%がつくため、森林所有者は実質6%位で造林できている。森林は約50年で伐採であり、統計を50年で均すと1ヘクタール当たり年5,000円程度にしかならない。100丁位持っていれば、大規模で経営出来る可能性がある。
- 委員 常に切れる木があり、循環していれば、儲かる。50年に一度の収入であることから、自分の代で収入見込みが無ければ、相続時に手放す可能性が大にある。
- 委員 カラマツであれば、伐採までの期間が短い、広葉樹であれば長くなるのか？
- 委員 広葉樹は自生するので、侵入木で入っている。手をかけ無くとも生えてくるので人工林の間伐に入ると、結構生えている。広葉樹も見直されてきており、民有林でも角材などに加工され活用されてきている。
- 委員 バイオマス発電などは何かあるのか？材料の取り合いになるのか？
- 委員 昨年、江別市で王子が木質バイオマスを本格的に稼働させた。その際、使用する予定が無かったカラマツが使われ、一時期木質バイオマス用の木材価格が高騰したが、急騰ではない。これから、12月に紋別市、その後苫小牧でも木質バイオマス発電が建設予定となっている。当初廃材の活用として考えられていたが、チップなど一般材も活用されてきている。FIT価格の下落により、買電価格に見合わなくなる。
- 委員 木材を使ってもらうことを考えなければならぬ。学校などの公共施設でも木造建築を考えていただきたい。
- 委員 地場産材を活用して、公共施設などを建設しているところが増えている。
- 委員 岩手県紫波町視察したが、木造建設でコスト削減していた。補強など修正材を活用していた。

	<ul style="list-style-type: none"> ■ 委員 修正材は火災に強い。燃えづらい特性がある。 ■ 委員 修正材は数が出ないこと、コストが高いことがネックである。 ■ 委員 施策の中に「活用」を少し入れていただきたい。 ■ 委員 下川は木材の地産地消を行っている。 ■ 委員 森林組合としては、上川北部で木材が回っており、下川町とも連携している。上川北部、和寒以北中川町までで、西興部村は範囲外である。 ■ 委員 下川が取り組んでいるFCF認定はどのようなのか？ ■ 委員 FCF認定は3年くらいかかるし、認定費用、維持する費用もかかることから、検討はしているが未定である。 ■ 委員 認定商品は、商品価値、高付加価値が得られるのと、安全・安心をPRできる。 ■ 委員 認証はブランド化に繋がる。 ■ 委員 東京五輪の競技場で使用するカラマツは認証材を使う。しかし、浸透はして いなく、五輪契機に認証材の認知度を上げていきたい。 ■ 委員 西興部村にある木夢のような施設があれば、木に対する見方が変わると思う。 ■ 委員 多くの意見が出たので、可能な限り具体的な文言を入れ込んで修正して いただきたい。議論がどのように総合計画に反映されるのかお知らせいた だくと、市民にわかりやすいものにして欲しいし、まだ部会を開催して いきたい。 ◎事務局 今後、ご意見を反映していくか、お知らせしたい。基本目標のまとめも議論 いただきたいので、もしばらくお願いしたい。日程調整は後日行ないたい と思います。引き続きよろしくお願いします。
決定事項等	<p>施策検討については、一定程度終了する。 意見を反映して、文言整理を行い次回の部会で示す。</p>